

マイケル T. カワチ

マイケル・カワチ氏は過去 25 年間にわたり日本で米国人弁護士として活動。現在はコロンビア大学法科大学院の客員研究員、国際仲裁訓練プログラム事務局長（Executive Director of the International Mediation Training Program）、また東京にある民間投資会社 Charis Capital Management Ltd. の CEO を兼務。過去には Amazon.com の日本副社長兼総合弁護士（Associate General Counsel）を務めたほか、Skadden, Arps, Meagher, Slate and Flom 法律事務所に所属、Mayer, Brown & Platt（現 Mayer Brown Rowe and Maw）のパートナー。未来を創る財団（東京）の評議員として財団創設に携わったほか、国際基督教大学（東京）理事、全米日系人博物館（ロサンゼルス）の理事も務める。カリフォルニア州弁護士会および第一東京弁護士会の会員。UCLA、コロンビア大学法科大学院、デューク大学フュークアビジネススクール卒業。国際ロータリー奨学生として東京大学法学部で大学院生研究助手を務めた経験ももつ。家族はユリア夫人（旧姓ワガツマ）と二女（アイラさん、エリヤさん）。